

一人ひとりに
寄り添う政治を。そ世
だ田
ち谷

つるみけんご

世田谷区議会議員

無所属

通信
Vol.28

世田谷から未来を変える。

特定の団体や企業のためではなく、しがらみのない立場で、本当に困っている人の声を受け止められる”一人ひとりに寄り添う政治”の実現を目指して「つるみけんご」は、活動を続けます。

つるみけんご

鶴見健悟プロフィール

- 1986年(昭和61年)10月12日生まれ 38歳
 - 世田谷区立駒沢保育園、駒沢小学校、駒沢中学校、東京農業大学第一高等学校、東京農業大学応用生物科学部 (バイオサイエンス学科卒)
 - JA東京中央会 元職員
 - 衆議院議員 長妻昭 元秘書
 - 公務員試験専門 喜治塾 元講師
 - 2019年世田谷区議会議員選挙で初当選(4491票)
 - 現在、2期目 (4755票)
- 区民生活常任委員会
DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員会

つるみけんごは
“認知症サポーター”です！

こんにちは。

この度はつるみけんご通信Vol.28をお手に取って頂き、誠にありがとうございます。

本通信では、令和6年第3回世田谷区議会定例会と令和5年度決算特別委員会における質問・質疑等の内容をまとめました。お読み頂けたら幸いに存じます。

※今回のチラシでは紙面の都合上、定例会で取り上げた全てのテーマを載せることはできませんでした。掲載できなかった内容を含め、議場での質問の様子は右のQRコードよりご覧いただけます。

世田谷区議会
インターネット
議会中継会議の録画映像を
ご覧いただけます。

つるみけんごの

令和5年度決算に対する意見開陳(全文)

令和6年第3回定例会(最終日)における令和5年度決算に対する つるみけんご の意見です。

せたがやの風は、令和5年度世田谷区一般会計歳入歳出決算認定ほか4件全てに賛成するにあたり、以下意見を申し述べます。

「目指すべき全体像の欠如」、このことが今の区政の迷走と停滞を招いているように思えてなりません。

区長は今年度末の窓口混雑解消を表明されていたわけですが、まるでその表明自体がなかったかのように担当所管は33分から「3分間」だけ待ち時間を短縮するという目標を議会に報告しました。

区長は「時間を返す改革」を掲げられましたが、庁舎整備部門は新庁舎に区民をお待たせするための待合スペースを増設するという設計変更を決定しました。

区長は「転入者にとって窓口は区との最初の接点であり、玄関・フロントに位置する大切な場である」と言われる一方で、担当副区長は窓口に行かなくて済むよう国に改善を求めると言われました。

ある施策の計画上の目標数値が大幅に引き下げられ、さらに区民意識調査での「区民の意識」という実績も低下している一方で、提出された決算資料では同施策は全ての項目で達成状況100%超えのオールA評価であるとの報告がなされました。

区は自らの「判断の矛盾」と「議会の指摘」に真摯に向き合うべきです。

議会におけるご発言や計画における目標数値が、なかったことにされたり、コロコロ変わったりするようでは議会軽視と言われても仕方がありません。改善を求めます。

今決算議会を通じ、区のある取り組みに対する「区民の評価」が下がる一方で、提出された決算資料では、区による高い「自己評価」がなされており、両者に大きな食い違いが生じていることを指摘いたしました。これに対し、政策経営部門は「複数の成果指標を設定している場合には、それぞれの成果指標の意義を踏まえ、事業の達成状況を確認し、施策の最終的な目標が効率的・効果的に達成できているかを総合的に判断していく必要がある。」と答弁されました。

区の答弁は、到底理解できるものではありません。まるで評論家のような答弁です。担当所管も、財政を取りまとめる政策経営部門も含め、区自身がそれを出来ないから、指摘をしているのです。

決算に対する区全体の姿勢に疑問を持ちます。決算の内容と、各種計画の目標との整合性を全庁を挙げて総点検し改善すべきです。今回は以上のことを指摘しておきます。

次回の予算及び決算審査をはじめ、区政運営のあらゆる面において「目指すべき全体像」と「あるべき姿」を明確に示し、一体性と連続性のある区政運営がなされることを求め、せたがやの風の賛成意見といたします。

裏面は、「世田谷のスポーツ実施率の向上」と「区民をお待たせする“お役所仕事”からの脱却」

質問 スポーツ実施率の向上、費用対効果と施策評価をどのように捉え、進めるのでしょうか？

～限られた財源を効率的に使い、区民の健康を支えるスポーツ環境の整備を～

質問の要旨

世田谷区の「世田谷スポーツ推進計画」では、令和4年度の区内における成人のスポーツ実施率（週に1回以上スポーツをする区民の割合）48.2%を令和9年度までに「65%にする」という目標を掲げています。これを実際の区内の人数に換算すると、約13万人の区民の方に新たにスポーツを始め頂くという計算になり、非常に高い目標であることがわかります。どれほどの経費をかけることを想定しているのか、どれくらいの予算を妥当と考えるか、費用対効果の視点が重要です。

他方、スポーツ習慣の定着は、個人の健康のみならず医療費・介護費の削減にも多大な影響を及ぼします。

データに基づく政策立案が求められる時代だからこそ、政策コストと効果のバランスを科学的に分析し、区民の健康政策を効率的に推進する必要があります。

以上を踏まえ、区として世田谷区におけるスポーツ実施率の向上や運動習慣の定着と医療費・介護費などの経済的コスト低減の関連性について、費用対効果の観点から、どのような考えをもって取り組みを進めるのか、ということを行いました。

区の答弁の要旨

スポーツの価値は健康の維持増進のみならず、交流による地域コミュニティの活性化や多様な人々との相互理解の促進などがあるとされている。これらの価値を経済的な価値とどのように比較し評価をするか、また食事や睡眠、喫煙、飲酒などの生活習慣も健康寿命に大きく影響する中、スポーツの効果を切り出して検証出来るかなどの課題があるが、限られた財源の中、効果的な施策展開を図る視点から、これらの課題に取り組んでいく。

つるみけんごコメント



区では施策を実施する部署が細かく分かれており、様々な領域をまたぐ政策については、財政と区全体の政策を取りまとめる政策経営部門が、政策全体の費用対効果という視点も持ち、政策・施策の評価を行うべきではないかと指摘しました。

このことがひいては適正な予算執行を促し、効率的に政策効果を上げるために重要な視点であると考えています。引き続き、限られた財源の中で効率的に、区民の健康を支えるスポーツ環境の整備を推進して参ります。

質問 たったの3分？ 区長が表明した“窓口混雑解消”とは一体何であったのでしょうか？

～区民をお待たせするのが当たり前な“お役所仕事”からの脱却を～

質問の要旨

窓口で区民が長時間待たされる、いわゆる「窓口混雑問題」は、元をたどれば、平成28年に保坂区長が小泉たま子議員の質問に対し、区民を長時間お待たせしている現状について謝罪をされ、改善されることを表明したことに端を発しています。

区長は、令和5年3月の予算特別委員会で他会派の質疑に対し、「向こう2年かけて『待たない窓口』を実現する」と改善に向けた具体的なスケジュールを表明されていました。令和7年3月（今年度末）には、長年窓口で区民をお待たせし続けていた現状が解消されるということであったはずですが。

それにもかかわらず、区は先日の特別委員会で、突如今年度末の待ち時間の目標をこれまでより3分だけ短くし「平均30分」とすることを表明しました。

たったの「3分」です。

区長が言われた「窓口混雑の解消」とは、一体何であったのでしょうか。区長の表明と実際の区の対応は合致していません。

このような状況を踏まえ、改めて実務の責任者に対し、区としての考え方を問いました。

区の答弁の要旨

究極的な待たない窓口とは行かない窓口であり、オンライン手続きのさらなる拡充が必要。一方で転入届やマイナンバーカード関連手続きなど国の規定で窓口にお越し頂かなければならない手続きも多く、国に対して改善を求め、区民の利便性を第一とした窓口改善に努めていく。

つるみけんごコメント

非常に残念ですが、区の答弁からは、区民をお待たせしてしまっているという現状についての責任感が感じられません。さらに転入届等の手続きが対面であるべきことにはいくつかの理由があります。私は、転入時の対面での窓口は、区民と区の最初の接点であり、様々な地区情報やゴミ出しのルール、災害時の避難経路などをお伝えできる唯一の機会であることに加え、転入される区民の方々が抱える子育てや介護の悩みをお聞きし適切な支援にお繋ぎできる大切な場であると考えます。ゆえに全てをオンラインで完結させようとするには慎重な立場です。

また、窓口混雑問題については、区長が議会で表明をされたことは、私達区民に対する約束でもあり、そのことが一方的に守られないということがあってはならないと考えます。

引き続き、「区民をお待たせしない窓口」の実現に向けて、区の体質改善を求めて参ります。

つるみけんご事務所

〒154-0003 東京都世田谷区野沢4-14-4

TEL.03-6322-0575

✉ kengo@k-tsurumi.net 🌐 http://k-tsurumi.net

つるみけんご
日々の活動
発信中

Facebook

Instagram

Twitter

YouTube

